Also available daily on the internet!!
http://qt.swim.org/user_dir/japanlife/user_print_web.php

Devotional Guide

ディーヴォ ガイド

Nagoya Glorious Chapel

2026.11.2-8

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

Family Worship

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

Cell Group Guide

セル ガイド

①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
③ディボーションの分かち合いをします。
④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。 いつもの家族でいいのです。

①この１週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
②この１週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）１つだけ。
③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
④互いの必要のために祈りましょう。

LTG Guide

ＬＴＧ ガイド

①お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。（1～３つ）

②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。

③礼拝メッセージの分かち合いをします。
　礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）

④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

Nagoya Glorious Chapel

2日　月曜

ピレモン

1:15 オネシモがしばらくの間あなたから離されたのは、おそらく、あなたが永久に彼を取り戻すためであったのでしょう。
1:16 もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、愛する兄弟としてです。特に私にとって愛する兄弟ですが、あなたにとっては、肉においても主にあっても、なおのことそうではありませんか。
1:17 ですから、あなたが私を仲間の者だと思うなら、私を迎えるようにオネシモを迎えてください。
1:18 もし彼があなたに何か損害を与えたか、負債を負っているなら、その請求は私にしてください。
1:19 私パウロが自分の手で、「私が償います」と書いています。あなたが、あなた自身のことで私にもっと負債があることは、言わないことにします。
1:20 そうです、兄弟よ。私は主にあって、あなたの厚意にあずかりたいのです。私をキリストにあって安心させてください。
1:21 私はあなたの従順を確信して書いています。私が言う以上のことまで、あなたはしてくださると、分かっています。
1:22 同時に、私の宿も用意しておいてください。あなたがたの祈りによって、私はあなたがたのもとに行くことが許されると期待しているからです。
1:23 キリスト・イエスにあって私とともに囚人となっているエパフラスが、あなたによろしくと言っています。
1:24 私の同労者たち、マルコ、アリスタルコ、デマス、ルカがよろしくと言っています。

Bible Reference 聖書の記述

1:25 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊とともにありますように。

ピレモンが自分の被害を考えたら、それは怒りしかないのですが、ここでパウロは神様の視点で見るように勧めています。「オネシモがしばらくの間あなたから離されたのは、おそらく、あなたが永久に彼を取り戻すためであったのでしょう。」と述べていますが、「ためであった」と表現されているその目的はまさに主の目的です。

また「請求は私にしてください」と、パウロは自分が責任を持つことを明言しています。もっともそれでピレモンが請求書を送るとは考えづらいのですが。また「あなた自身のことで私にもっと負債があることは、言わないことにします。」といいつつ、結局言っているのはパウロのユーモアと思われます。相手の心もほぐれることでしょう。またピレモンに宿の手配を頼んでいます。親しさと信頼も表わしているようです。

このように主は新しい人生を始める人に、周囲が心を一つにして援助することを喜んでくださいます。何ができるでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

3日　火曜

アモス

1:1 テコア出身の牧者の一人であったアモスのことば。これはユダの王ウジヤの時代、イスラエルの王、ヨアシュの子ヤロブアムの時代、あの地震の二年前に、イスラエルについて彼が見た幻である。
1:2 彼は言った。【主】はシオンからほえ、エルサレムから声をあげられる。羊飼いの牧場は乾き、カルメルの頂は枯れる。
1:3 【主】はこう言われる。「ダマスコの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らが鉄の打穀機でギルアデを踏みにじったからだ。
1:4 わたしはハザエルの家に火を送る。その火はベン・ハダドの宮殿を焼き尽くす。
1:5 わたしはダマスコのかんぬきを打ち壊す。王座に着いている者をアベンの谷から、王笏を持っている者をベテ・エデンから断つ。こうしてアラムの民はキルへ捕らえ移される。――【主】は言われる。」
1:6 【主】はこう言われる。「ガザの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らがすべての者を捕囚の民として捕らえ移し、エドムに引き渡したからだ。
1:7 わたしはガザの城壁に火を送る。その火はその宮殿を焼き尽くす。
1:8 わたしは、王座に着いている者をアシュドデから、王笏を持つ者をアシュケロンから断つ。わたしはエクロンに手を向け、ペリシテ人の残った者は滅びる。――【神】である主は言われる。」

アモスは異邦の国々へのさばきの預言をしつつ、そのさばきが最後にはイスラエルに及ぶということを表わします。

Bible Reference 聖書の記述

ダマスコの罪は「踏みにじった」残虐、ガザの罪は「捕囚」を「エドムに引き渡した」無慈悲、です。その罪は三つまたは四つというように繰り返して行われました。
主は義なる方であって、そのさばきには必ず理由があるのです。主の正義の前にひれ伏しましょう。その正しさを認めましょう。そして主の正義ゆえに安心しましょう。また感謝しましょう。自分のうちに直すべきところを見つけて、主の前に正しく歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

4日 水曜

アモス

1:9 【主】はこう言われる。「ツロの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らがすべての者を捕囚の民としてエドムに引き渡し、兄弟の契りを覚えていなかったからだ。
1:10 わたしはツロの城壁に火を送る。その火はその宮殿を焼き尽くす。」
1:11 【主】はこう言われる。「エドムの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らが剣で自分の兄弟を追い、あわれみを断ち、いつまでも怒り、どこまでも激しい怒りを保ち続けたからだ。
1:12 わたしはテマンに火を送る。その火はボツラの宮殿を焼き尽くす。」
1:13 【主】はこう言われる。「アンモン人の三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らがギルアデの妊婦たちを切り裂いて、自分の領土を広げたからだ。
1:14 わたしはラバの城壁に火を放つ。その火はその宮殿を焼き尽くす。戦いの日の、ときの声のうちに、つむじ風の日の突風とともに。
1:15 彼らの王は、その高官たちとともに捕囚の身となる。――【主】は言われる。」

ツロの罪は「兄弟の契りを覚えていない」不誠実など、エドムの罪は兄弟殺し、アンモン人の罪は残虐です。
これらの戦いは「領土を広げ」ることを目的としており、国家間の大義名分があったかもしれませんが、神様の前にはどんなときも人の命は尊いものです。不誠実や殺しや残虐を行えば、さばきを受けるのです。
人間的な大義名分などは主の前には通じないことを覚え、いつの時代にも通じる正義と愛を行いましょう。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

5日 木曜

アモス

2:1 【主】はこう言われる。「モアブの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼がエドムの王の骨を焼いて灰にしたからだ。
2:2 わたしはモアブに火を送る。その火はケリヨテの宮殿を焼き尽くす。モアブは、どよめきのうちに、ときの声と角笛の音のうちに死ぬ。
2:3 わたしはさばく者を町の真っただ中で滅ぼし、そのすべての高官たちを彼とともに切り殺す。――【主】は言われる。」
2:4 【主】はこう言われる。「ユダの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らが【主】のおしえを捨てて、その掟を守らず、先祖がつき従ったまやかしものが彼らを惑わしたからだ。
2:5 わたしはユダに火を送る。その火はエルサレムの宮殿を焼き尽くす。」
2:6 【主】はこう言われる。「イスラエルの三つの背き、四つの背きのゆえに、わたしは彼らを顧みない。彼らが金と引き換えに正しい者を売り、履き物一足のために貧しい者を売ったからだ。
2:7 彼らは、弱い者の頭を地のちりに踏みつけ、貧しい者の道を曲げている。子とその父が同じ女のもとに通って、わたしの聖なる名を汚している。
2:8 彼らは、すべての祭壇のそばで、質に取った衣服の上に横たわり、罰金で取り立てたぶどう酒を自分たちの神の宮で飲んでいる。

モアブの罪は「エドムの王の骨を焼いて灰にした」とあるように、残酷です。エドム自体も罪を犯した民ですが、そのエドムに対してさばきとなったから良いというのではありません。主は人間の心の内とその行いの良し悪しを問うのです。

ユダヤとイスラエルすなわち神の民を苦しめた悪しき民がさばかれることで、彼らは溜飲を下げる思いであったでしょうが、しかしその神のさばきはここに来てユダをさばくことになります。神の義は変わることがないからです。また人の罪は同じように神の前では罪だからです。

ユダに続いて、神の民であるイスラエルへのさばきについて預言されています。「祭壇」という神を第一にすべきところで、「酒を…飲んでいる」というように、主のあがめられるべきときに自分勝手をしているなら、その民は立ち行かないのです。

心の罪と行いを問われる神様の前に、自分がクリスチャンだからと安心するのではなく、悔い改めつつ赦されつつ、主の喜ばれる道を歩みましょう。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

6日　金曜

アモス

2:9 彼らの前からアモリ人を滅ぼし尽くしたのは、このわたしだ。彼らは杉の木のように背が高く、樫の木のように強かった。わたしは、その上の実も下の根も滅ぼし尽くした。
2:10 あなたがたをエジプトの地から連れ上り、四十年の間、荒野の中であなたがたを導き、アモリ人の地を所有させたのは、このわたしだ。
2:11 わたしが、あなたがたの息子たちから預言者を、あなたがたの若者からナジル人を起こしたのだ。そうではなかったか。イスラエルの子らよ。――【主】のことば――
2:12 しかし、あなたがたはナジル人に酒を飲ませ、預言者には『預言するな』と命じた。
2:13 見よ。このわたしが、あなたがたを押しつぶす。束を満載した荷車が押しつぶすように。
2:14 足の速い者も逃げ場を失い、強い者も力をふるえず、勇士も自分を救えない。
2:15 射手も立ちおおせず、足の速い者も逃れられず、騎手も自分を救えない。
2:16 勇士のうちの、心の強い者も、その日には裸で逃げるようになる。――【主】のことば。」

イスラエルとユダという神の民は、自分たちが選民であるから、敵が滅ぼされたのだと高慢になって居ました。しかしそれは自分たちの力ではなく、神様の力でした。つまり神様を侮ってしまったらら、自分たちは立ち行かないのです。
また「ナジル人」という神にささげるという尊い行為を、「酒を飲ませ」るなどして、だめにしてしまった、そのような侮りが訴えられています。
主への献身や奉仕をもっと尊び、主のみわざが進むようにしましょう。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

7日 土曜

アモス

3:1「イスラエルの子らよ、聞け。【主】があなたがたについて告げた、このことばを。わたしがエジプトの地から連れ上った、あなたがたすべての部族についてのことばを。
3:2 わたしは、地のすべての種族の中から、あなたがただけを選び出した。それゆえ、あなたがたのすべての咎のゆえにわたしはあなたがたを罰する。」
3:3 約束もしていないのに、二人の者が一緒に歩くだろうか。
3:4 獲物もないのに、獅子が森の中で吼えるだろうか。何も捕らえていないのに、若獅子がその洞穴で声をあげるだろうか。
3:5 罠も仕掛けられていないのに、鳥が地の鳥網にかかるだろうか。何も捕らえていないのに、鳥網が地面から跳ね上がるだろうか。
3:6 角笛が町で鳴らされたら、民は驚かないだろうか。町にわざわいが起こったら、【主】がそれをなされたのではないか。
3:7 まことに、【神】である主は、ご自分の計画を、そのしもべである預言者たちに示さずには、何事もなさらない。
3:8 獅子が吼える。だれが恐れないでいられよう。【神】である主が語られる。だれが預言しないでいられよう。

この世の出来事に原因があるように、「町にわざわいが起こったこと」と「主」のさばきは関連があると、預言者は言います。そして「サマリヤの山々」に起きる「大恐慌」が預言されます。その目撃者は神に反逆する異邦の民です。
このように神に民であっても、主に背くなら、不信者の前でさばかれることにもなるのです。神の義は誰の前でも変わることはないからです。クリスチャンだからといって、正しい行いに関しての割引があるのではないのです。
主の喜びを常に覚えつつ、それゆえに正しいことをしてゆきましょう。それが難しいと感じるなら、その弱さを認めて、聖霊の力に頼りましょう。聖霊は喜びとともに良き行いをさせてくださいます。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

8日　日曜

アモス

3:9 「アシュドデの宮殿とエジプトの地の宮殿に告げよ。『サマリアの山々の上に集まり、その町の大いなる混乱と、そのただ中の抑圧を見よ。』
3:10 彼らは正直に事を行うことを知らない。――【主】のことば――彼らは自分たちの宮殿に、暴虐と暴行を宝物のように蓄えている。」
3:11 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「敵が、この地を取り囲み、あなたの権威を地に落とす。あなたの宮殿はかすめ奪われる。」
3:12 【主】はこう言われる。「羊飼いが獅子の口から二本の足、あるいは耳たぶだけでも取り戻すように、サマリアに住むイスラエルの子らは、寝台の隅やダマスコの長椅子とともに救い出される。
3:13 聞け。ヤコブの家に証言せよ。――【神】である主、万軍の神のことば――
3:14 まことに、イスラエルの背きのゆえにわたしが彼の上に報いる日に、わたしはベテルの祭壇を罰する。その祭壇の角は折られ、地に落ちる。
3:15 わたしは冬の家と夏の家を打つ。象牙の家は滅び、大邸宅も消え失せる。――【主】のことば。」

アシュドテ、エジプトのさばきに際して、その偶像のさばきが宣告されます。すなわち偶像の祭壇です。それと同じく主はイスラエルの祭壇であるベテルの祭壇を罰すると仰せられます。
たとえ祭壇を築いて、形ばかり主に従っているように見せても、その実が主に従っていないなら、それは異教の信仰と同じだということです。

Bible Reference 聖書の記述

形ではなく、心と生き方で主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？